

第75回全国植樹祭の開催について

埼玉県 全国植樹祭推進課 総務・企画広報担当

1. はじめに

「全国植樹祭」は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために開催される、国土緑化運動の中心的行事です。昭和25年に山梨県で開催されて以降、各県持ち回りで、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外から多数の招待者を得て、毎年春に開催されています。

秩父ミュージズパーク



展望タワーから眺める武甲山



スカイロード



天皇陛下お手植え (第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供)

このたび、「第75回全国植樹祭」を、66年ぶりに2回目として、今年5月25日(日)に埼玉県で開催します。全国植樹祭の式典会場及び植樹会場は、秩父市と小鹿野町にまたがり、秩父地域の豊かな自然に恵まれた「秩父ミュージズパーク」です。

天皇皇后両陛下により苗木を植えていただく「お手植え」と、種をまいていただく「お手播き」や、県内外からの招待者による記念植樹を行います。また、大会テーマを表現するアトラクションの披露や、国土緑化活動に関する功労者への表彰などを行います。

なお、当日は、所沢市、深谷市、久喜市にサテライト会場を設置して式典等の模様をライブ中継します。

2. 第10回大会(前回埼玉県開催)の模様

埼玉県では、昭和34年4月5日、^{かなおやま}金尾山(寄居町)において、第10回大会を開催しました。

この大会では、昭和天皇・香^{こうじゆん}淳皇后両陛下がヒノキの苗木をお手植えになるとともに、旧埼玉県林業試験場(寄居町)に移動し、昭和天皇はスギの種子を、香淳皇后はヒノキの種子をお手播きになりました。

当日は約7千人の参加者により、ヒノキの苗木、約1万5千本が3.8ヘクタールの敷地に植樹されました。



昭和天皇のお手植え



植樹会場の様子

3. 第75回全国植樹祭の開催理念

埼玉県は、関東平野の内部に位置する内陸県であり、原生林を残す奥秩父の山々や武蔵野の面影を残す雑木林に代表される里山・平地林、首都圏の主要な水源である荒川や利根川をはじめとする豊富な清流・河川など豊かな自然に加え、産業、歴史、伝統文化など多彩な特性に恵まれ、住みよい生活環境を有しています。

本県の森林は、奥地に残されたシラビソ等の貴重な原生林から、山地・丘陵地のスギ・ヒノキ人工林、都市近郊に残されたコナラ・クヌギ等の平地林に至るまで、多彩な姿を見ることができます。

森林には動植物から微生物まで多様な生物が生息し、それらが健全に維持されることで木材の供給のほか、水源の涵養や地球温暖化の防止、国土保全、保健・レクリエーションなど様々な多面的機能を発揮し、私たちの安全・安心な生活に欠くことのできない恩恵をもたらしてくれます。

近年、記録的な大雨等の増加などの気候危機は、全国的に流木を含む土砂災害を発生させ大きな被害をもたらしています。このため、森林の土砂災害防止機能を高め防災・減災対策を進める上でも、間伐や再造林などの適切な森林整備を積極的に行うことが求められています。

また、深刻化しつつある地球温暖化は、私たちの生存基盤に関わる最も重要な環境問題で世界的に対策に取り組むことが求められ、2020年（令和2年）10月に、我が国は2050年（令和32年）までに温

室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」、「脱炭素社会」の実現を目指すことを宣言しました。

この実現には、「伐^きって・使^きって、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を推進し、森林の若返りと木材の利用拡大を図ることで、森林による二酸化炭素の吸収・固定機能と木材利用による炭素の貯蔵効果を高めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、私たちは豊かな森林・みどりを利用しながら守り育て、次の世代へ引き継いでいくため、次の開催理念の下、全国植樹祭を開催します。

開催理念

適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。

豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどりを共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。



4. 第75回全国植樹祭の概要

●大会テーマ

「人・森・川 つなげ未来へ ^{さい}彩の国」

山村や都市など県に暮らす「人」が、植樹によって「森」を育み、森林から流れ出る「川」によって人々の生活が潤される営みを「未来」の子供たちにつないでいこうという強い思いを表現しています。

●大会シンボルマーク



●大会ポスター原画



タイトル「みどりをだいにしよう」

●式典会場・植樹会場

式典会場では、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播きを中心とする記念式典を行います。植樹会場では、県内外からの招待者による記念植樹を行います。



式典会場



植樹会場

●サテライト会場

式典会場にお越しいただけない方々にも全国植樹祭に御参加いただけるよう県内3か所にサテライト会場を設置します。当日は式典の模様をライブ中継するほか、ライブステージ、各種PR展示を行います。



エミテラス所沢



深谷テラスパーク



モラージュ葛蒲

5. 機運醸成の取組

第75回全国植樹祭を成功させるためには、全国から招待者の皆様をお迎えする万全の体制を整えることはもちろん、埼玉県全体で開催機運を盛り上げていくことが重要です。

埼玉県では、県内各地で様々なイベントを実施するなど、全县での機運醸成に取り組んでいます。

●どこでも植樹祭

県内各地で行われているイベントに合わせて、全国植樹祭のPR活動をする「どこでも植樹祭」を行って

います。会場の規模やイベントの内容に応じて、ワークショップ、パネル展示、オリジナルグッズ・苗木の配布など様々な取組を行っています。(写真①)

●苗木のスクールステイ

全国植樹祭や関連イベントで使用する苗木の一部を保育所、幼稚園などの皆さんに育てていただいています。この取組では、森林環境学習を実施して森林づくりの大切さを子どもたちにお伝えし、苗木の育成を通じて全国植樹祭の開催に向けた機運を盛り上げています。(写真②③)



① ブース出展



② ドングリの種まき



③ 苗木のスクールステイ



④ 木製地球儀巡回展示

●「木製地球儀」巡回展示

令和6年5月26日に岡山県で開催した「第74回全国植樹祭」で、大野知事が岡山県の伊原木知事から全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を引き継ぎました。

県全体で全国植樹祭の開催機運を醸成するため、木製地球儀を県内全市町村で巡回展示しています。

展示期間：令和6年6月17日（月）から

令和7年3月27日（木）まで

展示場所：県内63市町村の庁舎ロビーやホール等

木製地球儀とは——

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭が開

催された第52回山梨県大会の際に、植樹祭のシンボルとして製作されました。森林・林業がさらに重要な役割を担うことをイメージした「木製の地球」で、「国民」「企業」「行政」が一丸となって3者の手で支えていく姿を「3枚の葉」で表現し、地球はヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られています。（写真④）

●カウントダウンボード

全国植樹祭開催までの残り日数をお知らせするカウントダウンボードを、5つの県立工業高校の生徒の皆さんに、埼玉県産木材を使ってデザインから製作まで行っていただきました。カウントダウンボードは、県内の駅に設置しています。（写真⑤）

制作校	浦和工業高校	大宮工業高校	春日部工業高校	川越工業高校	熊谷工業高校
⑤ カウント ダウン ボード 写真					
設置場所	浦和駅（JR）	大宮駅（JR）	春日部駅（東武鉄道）	川越駅（JR）	熊谷駅（秩父鉄道）

6. おわりに

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会では、大会の成功に向け着実に準備を進めるとともに、より多くの県民の皆様に関心を持っていただけるように機運醸成の取組を加速させてまいります。今後とも、皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会事務局（埼玉県農林部全国植樹祭推進課）

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 ☎ 048-830-4306

公式 HP: <https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>



公式ホームページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>



公式 X
@syokujusai_2025



公式 Instagram
@syokujusai_2025